



平成 23 年 6 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社クロタニコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 黒 谷 純 久
(コード番号：3168 東証第二部)
問合せ先 専務取締役 井 上 亮 一
(TEL. 0766-84-0001)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

この度の震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社は、本日、平成 23 年 6 月 9 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円・%)

項 目	決 算 期	平成 23 年 8 月 期 (予想)			平成 23 年 8 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成 22 年 8 月 期 (実績)	
			構 成 比	前 年 比		構 成 比		構 成 比
売 上 高		52,976	100.0	109.6	27,005	100.0	48,319	100.0
営 業 利 益		2,423	4.6	165.6	1,694	6.3	1,463	3.0
経 常 利 益		2,247	4.2	191.2	1,584	5.9	1,175	2.4
当 期 (四 半 期) 純 利 益		1,207	2.3	187.0	855	3.2	645	1.3
1 株 当 た り 当 期 (四 半 期) 純 利 益		193 円 16 銭			141,982 円 85 銭 (141 円 98 銭)		107,637 円 82 銭 (107 円 64 銭)	
1 株 当 た り 配 当 金		20 円 00 銭			—		10,000 円 00 銭 (10 円 00 銭)	

(注) 1. 当社は、連結財務諸表を作成しておりません。

2. 平成 22 年 8 月 期 (実績) 及び平成 23 年 8 月 期第 2 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 23 年 8 月 期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数 (972,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分 (最大 310,800 株) は考慮しておりません。

3. 平成 23 年 4 月 1 日付で株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を () 内に記載しております。

以上



平成 23 年 8 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 23 年 6 月 9 日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社クロタニコーポレーション
コード番号 3168 URL http://www.kurotani.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒谷 純久
問合せ責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 井上 亮一 TEL (0766) 84-0001
四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 8 月期第 2 四半期の業績 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 8 月期第 2 四半期	27,005	—	1,694	—	1,584	—	855	—
22 年 8 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 8 月期第 2 四半期	141,982.85	—
22 年 8 月期第 2 四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成 22 年 8 月期第 2 四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、22 年 8 月期第 2 四半期の記載及び 23 年 8 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
2. 平成 23 年 4 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。詳細については「(ご参考) 株式分割に伴う 1 株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 8 月期第 2 四半期	15,346	5,590	36.4	927,428.62
22 年 8 月期	14,439	4,735	32.8	785,541.82

- (参考) 自己資本 23 年 8 月期第 2 四半期 5,590 百万円 22 年 8 月期 4,735 百万円
(注) 平成 23 年 4 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。詳細については「(ご参考) 株式分割に伴う 1 株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 8 月期	—	—	—	10,000.00	10,000.00
23 年 8 月期	—	0.00	—	—	—
23 年 8 月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

- (注) 1. 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無
2. 平成 23 年 4 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。詳細については「(ご参考) 株式分割に伴う 1 株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成 23 年 8 月期の業績予想 (平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,976	9.6	2,423	65.6	2,247	91.2	1,207	87.0	193.16

- (注) 1. 業績予想値の当四半期における修正の有無 : 無
2. 平成 23 年 8 月期の業績予想の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数 (972,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分 (最大 310,800 株) は考慮しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年8月期第2四半期 7,000株 22年8月期 7,000株

② 期末自己株式数 23年8月期第2四半期 972株 22年8月期 972株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年8月期第2四半期 6,028株

(注) 平成23年4月1日付で、普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。詳細については「(ご参考) 株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考) 株式分割に伴う1株当たり数値の遡及修正

当社は、平成23年4月1日付で、普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報等は、以下のとおりであります。

(1) 1株当たり四半期純利益

1株当たり四半期純利益	
	円 銭
23年8月期第2四半期	141.98

(2) 1株当たり純資産

1株当たり純資産	
	円 銭
23年8月期第2四半期	927.43
22年8月期	785.54

(3) 1株当たり配当金

1株当たり配当金		
	期末	合計
	円 銭	円 銭
22年8月期	10.00	10.00

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年8月期第2四半期 7,000,000株 22年8月期 7,000,000株

② 期末自己株式数 23年8月期第2四半期 972,000株 22年8月期 972,000株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年8月期第2四半期 6,028,000株

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国における住宅市況や雇用環境の低迷及びEUのソブリンリスク等に関して依然大きな改善を見せておらず、先進国は、一進一退の状況が続きました。一方、中国等の新興国は、金融引き締めを継続しているものの堅調な経済を維持したことから全体的には緩やかな成長となりました。

我が国経済は、大幅な円高や緩慢な内需の回復から、他の先進国同様大きな改善はなかったものの、新興国需要を中心とした外需中心に横ばいで推移いたしました。

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、このような世界経済・国内経済の動向から、国内販売は増加したものの海外販売の減少から、全体としては販売数量の減少となりました。しかしながら、各国の金融緩和による資金が商品市場に流入したことから、ロンドン金属取引所の銅価格が10,000ドルを超え史上最高値を更新したこともあって利益率が大幅に改善し、当社業績は売上高270億5百万円、営業利益16億94百万円、経常利益15億84百万円、四半期純利益8億55百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における総資産は153億46百万円となり、前事業年度末に比べ9億7百万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ9億29百万円増加し、122億4百万円（前事業年度末比8.2%増）となりました。これは主に売上債権18億73百万円、たな卸資産8億16百万円増加しましたが、現金及び預金14億3百万円、未収消費税等4億22百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、特筆すべき増減はありません。

流動負債は、前事業年度末に比べ4億42百万円減少し、77億56百万円（前事業年度末比5.4%減）となりました。これは主に仕入債務4億24百万円、未払法人税等3億13百万円増加しましたが、短期借入金11億円減少によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ4億94百万円増加し、19億99百万円（前事業年度末比32.9%増）となりました。これは主に長期借入れ11億円を新規調達したことによる長期借入金5億31百万円純増によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ8億55百万円増加し、55億90百万円（前事業年度末比18.1%増）となり、自己資本比率は36.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、7億28百万円となり、前事業年度末より14億9百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金は6億47百万円の支出となりました。これは主に収入としては税引前四半期純利益15億84百万円、仕入債務の増加4億24百万円、未収消費税等の減少4億22百万円があり、主な支出としては売上債権の増加18億73百万円、たな卸資産の増加8億16百万円、法人税等の支払4億41百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金は51百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出40百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金は7億7百万円の支出となりました。これは主に収入としては長期借入れによる収入11億円があり、支出としては短期借入金の純増減額による支出11億円、長期借入金の返済による支出6億11百万円、配当金の支払額60百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度下期における当社を取り巻く環境は、長引く円高の影響や東日本大震災による国内経済の悪化から厳しい状況が予想される一方、非鉄金属価格は、引き続き投機資金の流入等により高止まりが見込まれます。

このような状況下、当社は、弾力的な仕入・販売を行うことによって更なるコスト削減を図り、利鞘の拡大を目指してまいります。

この結果、当事業年度の業績予想は、売上高52,976百万円、営業利益2,423百万円、経常利益2,247百万円、当期純利益1,207百万円となる見通しです。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,432,804	2,836,100
受取手形及び売掛金	7,312,200	5,438,249
商品及び製品	532,992	351,411
仕掛品	136,998	127,072
原材料及び貯蔵品	1,825,674	1,200,194
その他	964,292	1,322,265
流動資産合計	12,204,964	11,275,293
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	833,202	900,585
有形固定資産合計	2,354,323	2,421,707
無形固定資産	75,219	90,698
投資その他の資産	712,265	651,894
固定資産合計	3,141,808	3,164,300
資産合計	15,346,773	14,439,594

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,713,855	1,289,158
短期借入金	2,550,000	3,650,000
1年内償還予定の社債	1,570,000	1,570,000
1年内返済予定の長期借入金	788,402	831,908
未払法人税等	764,232	450,924
引当金	34,833	12,491
その他	334,993	394,533
流動負債合計	7,756,317	8,199,015
固定負債		
社債	80,000	115,000
長期借入金	1,855,399	1,323,785
引当金	64,516	66,547
固定負債合計	1,999,915	1,505,332
負債合計	9,756,233	9,704,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	499,800	499,800
資本剰余金	308,060	308,060
利益剰余金	5,155,008	4,359,416
自己株式	△388,071	△388,071
株主資本合計	5,574,797	4,779,205
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,741	△43,959
評価・換算差額等合計	15,741	△43,959
純資産合計	5,590,539	4,735,246
負債純資産合計	15,346,773	14,439,594

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
売上高	27,005,998
売上原価	24,726,181
売上総利益	2,279,817
販売費及び一般管理費	585,097
営業利益	1,694,719
営業外収益	
受取利息	306
受取配当金	1,412
受取保険金	400
違約金収入	2,274
その他	5,175
営業外収益合計	9,568
営業外費用	
支払利息	50,909
デリバティブ運用損	31,136
為替差損	19,400
その他	18,294
営業外費用合計	119,740
経常利益	1,584,547
税引前四半期純利益	1,584,547
法人税、住民税及び事業税	754,289
法人税等調整額	△25,614
法人税等合計	728,675
四半期純利益	855,872

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,584,547
減価償却費	86,956
引当金の増減額(△は減少)	20,311
受取利息及び受取配当金	△1,719
支払利息	50,909
為替差損益(△は益)	2,496
売上債権の増減額(△は増加)	△1,873,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△816,987
仕入債務の増減額(△は減少)	424,696
未収消費税等の増減額(△は増加)	422,717
その他	△55,886
小計	△155,907
利息及び配当金の受取額	1,756
利息の支払額	△52,022
法人税等の支払額	△441,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	△647,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△436,856
定期預金の払戻による収入	430,670
有形固定資産の取得による支出	△40,612
投資有価証券の取得による支出	△4,077
その他	△1,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,100,000
長期借入れによる収入	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△611,892
社債の償還による支出	△35,000
配当金の支払額	△60,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△707,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,496
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,409,481
現金及び現金同等物の期首残高	2,137,681
現金及び現金同等物の四半期末残高	728,200

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社はインゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業の他に美術工芸品の製造販売を行っておりますが、非鉄金属事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。